

予算委員会 会議録

日 時 令和8年3月4日（水曜日） 午前9時58分 ～ 午後0時12分

場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 匹田 郁	副委員長 戸匹 映二	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 伊藤 淳	委員 梅田 徳男	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 吉岡 勲	委員 牧 宣雄	

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

なし

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	安東 信二	政策監（市民担当 兼福祉保健担当）	柴田 監
政策監（インフラ担当）	高野 裕之	政策監（産業担当）	姫野 敬一
教育次長兼教育総務課長	佐藤 忠久	消防長	中尾 敬
総務課長	佐世 善之	総務課参事	桑原 昇造
総務課参事	江川 徹	財務経営課長	吉良 猛
秘書・総合政策課長	望月 裕三	秘書・総合政策課参事	内藤 健治
地域力創生課長	藤本 健次	市民課長	齋藤 正雄
市民課参事	後藤 秀隆	税務課長	尾本 浩
保険健康課長	川辺みさご	環境課長	麻生 幸誠
高齢者支援課長	安藤 隆文	子ども子育て課長	竹尾 幸三
福祉課長	大戸 敏雄	都市デザイン課長	広瀬 隆
建設課長	小坂 郡師	水道事業所長併上下水道課長	村上 和

水道事業所参事監 併上下水道課参事監	日高誠一郎	産業観光課長	山木 哲男
産業観光課参事監	安東 昌文	学校教育課長	新名 敦
学校教育課参事	高田 教一	社会教育課長	那賀 啓史
消防本部総務課長	廣戸 隆宏	その他関係職員	

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋 佳希 主幹 原 伸行 書記 工藤真里子

傍聴者

記者 1 名

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 2 3 号	令和 7 年度白杵市一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決
第 2 4 号	令和 7 年度白杵市水道事業会計補正予算（第 4 号）	原案可決
第 2 5 号	令和 7 年度白杵市下水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 2 6 号	令和 7 年度白杵市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 2 7 号	令和 7 年度白杵市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決

午前 9 時 5 8 分 開議

○委員長（匹田 郁）

これより予算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申出がありましたので、許可しております。

これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は 5 件であります。本日の委員会は、お手元に配布しております委員会次第により進行を行います。なお、一般会計と特別会計全ての説明と、質疑終了後に一般会計から順次、討論採決を行いたいと思いますので、よろし

くお願いいたします。また、質疑及び答弁を行う場合の挙手の徹底をお願いいたします。さらに、私語については慎むように願います。

初めに、第23号議案令和7年度臼杵市一般会計補正予算第6号を議題といたします。

まず、消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防長（中尾 敬）

おはようございます。消防長の中尾です。令和7年度3月補正予算に係る消防本部所管分について、担当の広戸総務課長より説明させていただきます。よろしくお願いいたします。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

2点ありますが、1点目、歳出の1番、消防団員の退職者が39名予定ということで、今現状の定員と39名が減ること何人になるか分かればお知らせください。お願いします。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

河野委員の質問にお答えいたします。令和8年1月1日現在、633名になりまして、令和8年4月1日現在では607名になる予定です。以上です。

○委員（河野 巧）

定員が何人で、そのうちの607名ですか。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

河野委員の質問にお答えいたします。条例定員といたしましては、700名に対して令和8年4月1日現在で607名の予定ということになります。

○委員（河野 巧）

はい、ありがとうございます。なかなか団員確保が厳しいと思うんですけども、頑張っていたきたいなと思っています。あと、繰越明許費の2番目の消防費、消防署の照明設備改修事業、LED化の費用なんですけれども、おおむね完成時期というのは分かっているんでしょうか。それとも、1階は終わったけど2階は終わっていないとか、その辺のご説明をお願いします。

◎消防本部総務課長（廣戸隆宏）

河野委員の質問にお答えいたします。おおむね工事は終わっているんですけども、非常用の電池を挿入しました照明器具が一部遅れておりまして、4月末、遅くとも5月中には完成する予定というふうに聞いております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

(「なし」の声)

○委員長(匹田 郁)

以上で消防本部の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。
暫時休憩いたします。

午前10時03分 休憩

午前10時04分 再開

○委員長(匹田 郁)

再開いたします。

次に、総務・企画関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監(安東信二)

おはようございます。総務・企画関係です。4つの課から3月補正予定の説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎総務課長(佐世善之)

(令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎財務経営課長(吉良 猛)

(令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎秘書・総合政策課長(望月裕三)

(令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

◎地域力創生課長(藤本健次)

(令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(匹田 郁)

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員(奥田富美子)

人材育成事業ということで、歳入の7番のところですか。今回減額であります。最終、高校生、利用されていた方は何人ぐらいいらっしゃいましたでしょうか。

◎秘書・総合政策課長(望月裕三)

奥田委員の質問にお答えします。高校生のバス通学用定期購入助成金の利用者についてですが、令和6年度の利用者につきましては28名でございました。以上です。

○委員(奥田富美子)

高校の無償化によって、市内に通うお子さんたちが少なくなっているという心配があって、現状はどうか、と思って質問したところです。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（広田精治）

歳出の3番の財政調整基金積立金ですけれども、累計で30億円ほどあったと思いますが、これを含めて累計額でいくらになるかを教えてください。

それともう1点。今回2億4,500万円の新たな積立てをするわけですけれども、これを積立てないで、要望の多い市道の改修だとか、なかなか予算がなくてできないというふうに市民に説明されている、これに、来年度充当するとか、そのようなことは考えられないのかを教えてください。

◎財務経営課長（吉良 猛）

広田委員のご質問にお答えいたします。まず6年度末の基金残高が約30億1,600万円でございます。今回7年度、それぞれ補正予算等で加味しまして、今回の予算を含めると、7年度末の見込みが、このまま予算どおり執行した場合という仮定ではございますけれども、約30億7,800万円の残高になる見込みでございます。

それから積立ての件でございますけれども、今回の積立てにつきましては、普通交付税が増額したことによる積立てを行っております。これにつきましては、今年度人件費の増とか、物価高騰対策でということで、普通交付税の増額がありましたので、これまでの補正で財政調整基金を取り崩してきたというような経緯がございますので、それを元に戻すような補正を今回させていただくということになります。

今回の基金に積みまますので、翌年度以降繰越して、その財源を使って今後事業に使っていきたいというふうに考えております。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（河野 巧）

関連があるんですけど、歳出の3から6までの基金について、一括運用の利子と総額の金額と配分が分かればお願いします。

◎財務経営課長（吉良 猛）

基金の運用でございますけれども、実際の運用は会計課において行っております。3月末まで動いておりますので、まだ確定ではございませんけれども、今年度の見込みとしましては、総額で約8,400万円の見込みとなっております。当初で予算化している部分もありますので、今回は追加が必要な分を計上しているということでございます。配分につきましては、資金管理方針というのがございまして、白桦市資金管理委員会の中で決定をして、各基金へ配分しているという状況でございます。以上です。

○委員（河野 巧）

すみません。もう一度、資金管理何になりますか。お願いします。

◎財務経営課長（吉良 猛）

白杵市資金管理委員会になります。白杵市の内部組織になりますけれども、そこで配分を決定しております。

○委員（河野 巧）

利子等、運用で収益を上げていただいているのはありがたいと思うんですが、昨今、借入れの利息も上がってきていると思います。それに対する予算的なもので変更はあるのでしょうか。

◎財務経営課長（吉良 猛）

借りる利息が上がってきているということなんですけれども、今年度につきましては、もう確定しておりますので、予算上の変更はございませんけれども、来年度以降、今後、新たに借りる利息については、だんだん上がってくる利息になりますので、今後、償還に対する利息分、ここが上がってくるのではなかろうかというふうに思っております。そこについては、今回も減債基金には積立しておりますが、そういったものを活用していきたいというふうに思っております。

○委員（河野 巧）

続いて、5ページの債務負担行為1番の秘書・総合政策課、これも利息に関わるんですけれども、夢応援教育ローン利子補給金ということで、結構信用組合の方が頑張っていて、利息を安くしてもらっていると思うんですけれども、現状まだその交渉というか、利息が高騰で検討できないかなとか、それがいいのかどうか、今後そういう懸念はないかどうかの話し合いが持たれているかどうか、説明があればお願いします。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員のご質問にお答えします。夢教育ローンの金利ということなんですけれども、特に金利に関しては、信用組合のほうと、安くしていただけないかという直接的な交渉はしておりません。ただ、教育ローン自体、比較的県信は定額のたてつけをしていただいています。

市のほうがこういった利子補給することで、借り手については負担軽減を図るということはさせていただいておりますので、利子補給については、今後も継続をする予定にしておりますので、保護者への負担軽減は続けられるかというふうに考えております。以上です。

○委員（河野 巧）

はい、ありがとうございます。気になったのは、他行に比べて、保護者負担がなくて白杵市が利息分を補填していると思うんですけど、その利息分が、他行に比べるとすごい安く設定されてるんじゃないかなと思っていますので、その辺の交渉というのが、これからとかこれまでもなかったかどうかの確認をしたかったんです。お願いします。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

先ほどもお答えしましたが、銀行自身の経営等もございまして、こちらのほうから銀行に

直接的に、金利を安くしてくれないかといったような話はしてはございません。以上です。

○委員（河野 巧）

金利を安くしてくださいというより、金利を高くしたいという銀行からの要望がないのかなという、他行に比べて、そもそも安く設定されているんで、金利の高騰により金利の値上げとかがないのかどうか、ちょっと説明をお願いします。

◎秘書・総合政策課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答え。すみません、ちょっと解釈を間違えておりました。

銀行さんのほうから特にそういった市への要望というか、上げるというアナウンス等もございません。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、総務企画関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午前10時25分 休憩

午前10時26分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、市民関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（柴田 監）

市民関係、4課のうち、市民課、税務課、環境課の3月補正の重点事項につきまして、資料に沿って、市民課のほうから順次説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

◎市民課長（齋藤正雄）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎税務課長（尾本 浩）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎環境課長（麻生幸誠）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

7 ページ目、債務負担行為 2 番、野津地域家庭ごみ等収集運搬業務委託料のところなんですけれども、これまでとおおむね同じ金額になりますか。これまでというのは、野津のほうは別にしてたんですけれども、今回の予算的なのは大方一緒の金額でよろしいでしょうか。お願いします。

◎環境課長（麻生幸誠）

河野委員のご質問にお答えいたします。野津地域は、ご存じのとおり豊後大野市に委託をしております。この収集運搬と豊後大野市の清掃センターで行う処理全てを含めまして負担金として、お支払いするという形をとっておりましたので、どれぐらいの金額で、この収集運搬のみ豊後大野市さんがされていたかというのは、私ども、把握するところではありません。ですが、今、白杵地域においては白杵市の清掃組合に収集運搬をしていただいております。同等の単価、体制によって、距離とかそういうのは当然変わってまいりますけれども、共通の単価については、同じような算出をさせていただくということではじき出しております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（奥田富美子）

繰越明許費のところの 2 番、家庭ごみの分別事典のところです。

今ちょうど、ごみの関係で令和 8 年度分が配布されている時期なんですけれども、この分は、すみません、中身についてもう 1 回お願いできますか。印刷費全部ですかね、この金額。

◎環境課長（麻生幸誠）

奥田委員のご質問にお答えします。毎年度、お配りしてるのはごみカレンダーのほうで、先日、市報と一緒に令和 8 年度の分をちょうど発送させていただきました。

このごみ分別事典につきましては、改訂保存版として、毎年するものではございませんで、変更がある場合に、新たに改訂するということがありますので、今回は、新環境センターの変更を盛り込んだ対応となります。時期としては今年の秋頃から住民説明会に入っておりますので、それまでには完成させたいということで考えております。

以上であります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」 の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、市民関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午前10時40分 休憩

午前10時41分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（柴田 監）

続きまして福祉保健部門の説明をさせていただきます。

保険健康課から順次、重点事項説明に沿って説明をさせていただきます。どうぞ慎重審議をよろしく願います。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（安藤隆文）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（竹尾幸三）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（芝田英範）

10ページの歳出の13番、世帯分離された非課税世帯は、今回は支給対象になるのでしょうか。

◎福祉課長（大戸敏雄）

芝田委員のご質問にお答えいたします。説明の中で少し触れましたとおり、本年3月31日の住民基本台帳に基づきまして、給付を行うというふうなことでございます。ですので、3月31日までに住民票が別になっていれば対象となるというふうなものでございます。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（芝田英範）

昨年、国が3万円、非課税世帯にあげたときは、該当にならなかったんですけども、今回は。

◎福祉課長（大戸敏雄）

芝田委員の再質問にお答えいたします。多分それは課税者からの扶養の方が別世帯というふ

うな場合での不支給決定が出た事例ではなかろうかなというふうには思います。

前は、住民税課税者からの扶養ということが判定の基準の一つになっていたわけですので、そこはちょっと違うところかなと思います。以上です。

○委員（芝田英範）

それも国の指針できたやつですか。

◎福祉課長（大戸敏雄）

芝田委員の再質問にお答えいたします。国の統一ルールでございます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

（ 「ありがとうございます」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午前11時04分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、インフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（高野裕之）

おはようございます。インフラ関係3課、デザイン課、建設課、上下水道課です。

歳入歳出それぞれ9項目。繰越し明許費補正5項目、債務負担行為1項目、それぞれ着座の状態で、担当課長より説明させていただきます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎建設課長（小坂郡師）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎上下水道課長（村上 和）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

13ページ1番の債務負担行為、市営住宅管理代行の件で、この委託料については、人件費だと思いますけれども、人件費については、白杵市と県の管理会社だと思うんですけれども、そこの人件費の料金格差は特にはないんですか。そこをよろしくお願いします。

◎都市デザイン課長（広瀬 隆）

河野委員のご質問にお答えします。まず、この変更の増額につきましては、大分県の給与改定に準じる変更ということで反映しておりますけれども、格差については、すみません、今現在把握できておりませんので、後ほど確認したいと思います。

○委員（河野 巧）

はい、よろしくお願いします。あとは、合併浄化槽の話があったと思うんですけれども。歳出12ページの7番、浄化槽設置で、当初予算よりも3割ほど余った形になると思うんですけれども、利用者の傾向というか、予算を作るうえでは、これぐらいの方が設置してくれるだろうという話で作ったと思うんですけれども、実際、余るところを見ると、要望的には多いのか、それがやりにくい制度というか、物価上昇により自己負担の払う金額が増えたからちょっと諦めた人がいるのかとか、その辺の情報があればお知らせください。

◎上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えをいたします。当初、予定では100件を見込んでいて、結果的には67件の申請ということになっております。傾向としては、今まで推移として100件程度はあるかなということでしたんですが、業者を通してうちに申請が来るものですから、業者の空き時間とか、そういうことも含まれますので、一概に申請が多い、要望が多いとか少ないとかいうことではないのかなというふうには考えてます。

今のところ100件程度はあるのかなということで、考えているところであります。以上です。

○委員（河野 巧）

合併浄化槽を入れるにあたって、これまでは50万円ぐらいあったのが、平均が4人槽か5人槽くらいで、それが少し補助が増えて100万円近くあったと思うんですけど、それ以上に工事費が上がってきて、そこで諦めようとする人もいるのか、それを補助を上げたら、もう少し利用者も増えるのかとか、その辺の話合いが進んでいるかどうか、その辺の検討を教えてください。

◎上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えをいたします。今、補助もかなり市も県も上乘せをしておりますので、100万円近くの補助がつくようになっていきます。ですから、個々の家ごとに負担が違っ

てはきますので、その辺で手出しが多くなる方もいらっしゃると思います。少ない人では、あまり手出しもなくていい方もいらっしゃると思いますので、どうしても利用しにくいというところはあるかもしれないですが、かなりの部分での補助金は出せていると思っておりますので、その辺はもう個人の判断にはなろうかと思えます。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませつか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で、インフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦勞さまでした。

暫時休憩いたします。

午前11時21分 休憩

午前11時23分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（姫野敬一）

第23号議案の令和7年度臼杵市一般会計補正予算の産業部門について、重点項目の説明をさせていただきます。

◎産業観光課長（山木哲男）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎政策監（姫野敬一）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いいたします。

○委員（梅田徳男）

ため池工事で軟弱土壌の改良が必要だというご説明がありました。繰越明許費でも、今年度内に完成しないで費用を繰り越すということですが、大分工事期間は延びるんですか。

◎政策監（姫野敬一）

梅田委員のご質問にお答えいたします。工事期間は5月を予定しております。

○委員（梅田徳男）

5月末ということですね。

(「はい」の声)

はい。ありがとうございます。

○委員長 (匹田 郁)

ほかにございませんか。

○委員 (安東鉄男)

家計負担軽減、消費喚起ということで、プレミアム商品券、非常に結構なことだと思います。

昨日の説明で3冊購入ということだったんですが、市民の方からも確実に聞かれるんですけど、全部合わせて3冊なのか紙と電子とあるいは白杵、野津と。まずその辺ちょっと説明をお願いいたします。

◎産業観光課長 (山木哲男)

安東委員のご質問にお答えいたします。まず、紙の商品券と電子商品券については、重複購入はできないように考えております。理由としましては、幅広く市民の皆様に使っていただくという趣旨から、そういうような形の設定にしたいと考えております。

ただし、紙の商品券については、これまで白杵と野津両方の商工会議所、商工会が発行していただいて、両方共、重複して購入してよいというふうな形で運用させていただいていましたので、それが継続するような形で事業のほうを組立てたいと思います。以上です。

(「ありがとうございます」の声)

○委員長 (匹田 郁)

ほかにございませんか。

○委員 (河野 巧)

今回から電子が入るということで、なかなか私自身ついていけない部分もあるんですけども、実際、電子を使ってもらうときに、小売店というか、品物を売るほうは二次元コードという話があったんですけども、システム的にはどういった必要性があるのか、その整備にはどれぐらいのかかるのか、もう少し詳しいご説明をお願いしたいと思います。

◎産業観光課長 (山木哲男)

河野委員のご質問にお答えします。電子の商品券の実際のシステムとか、事務費の構築にかかることの内訳というような形でよろしいですか。

○委員 (河野 巧)

実際買った人がどういうふうにするのかという流れが分かれば、よろしく申し上げます。

◎産業観光課長 (山木哲男)

河野委員のご質問にお答えします。こちらの電子の商品券を購入する流れについては、6月市報でチラシを入れさせていただいて申し込んでいただきます。まずアプリを入れていただいて、そこから皆さん、電子の商品券の申込みをしていただく。それで応募冊数により、1人3冊としておりますので、応募の数が多ければ、それが1人2冊となるというふうな形も。

全ての方に、商品券が渡るような形を組立てたいと考えております。当たった商品券につき

ましては、当然7月1日から使えるような形で課金される形になるんですけども、実際にスマートフォンを店側に持って行って、二次元コードの表示がありますので、店で金額を入れて、精算処理の終了という形になります。

○委員（河野 巧）

コロナ禍のときに、旅行した人に1,000円とか2,000円とか、県がアプリを使ってそれを見せたら、そこで処理できるとかいうシステムなんですかね。

どんなものなのかという想像ができなくて、お店側としては、何かそういう講習会というのを受けないといけないのかとか、そういう費用がこの費用の中に含まれてるのか、それも含めてご説明をお願いします。

◎産業観光課長（山木哲男）

適切かどうか分からないですけど、例を出して、Pay Payとか、電子商品券のところがあると思うんですけども、使い方としては、まず当選した人が自分でチャージしていただいて、そのチャージに基づいて、実際に支払いに使っていただく形になりますので、旅行形態のほうはちょっと私のほうは認識が分からないんですけども。

○委員（河野 巧）

お店側は、何かシステムみたいなものが新たに必要なのか、既存のやつを利用できるのか、既存の機械が導入された人にはた機械を買う費用が出るのか、その辺をご説明します。

◎産業観光課長（山木哲男）

今回の電子商品券事業につきましては、基本的にお店側には二次元コードを置くような形になります。電子商品券については、スマートフォンでしか実際使用できないような形になりまして、お店側の負担としましては、二次元コードの表示をしていただく、それだけです。それをもって、準備のほうは整う形となります。

◎産業観光課参事監（安東昌文）

河野委員の質問にお答えいたします。今の説明について、補足させていただきます。お店側には、こういった二次元コードがレジのところに紙で表示されます。利用される方はスマートフォンでこれ読み取って、全店がそういったやり方になりますので、店側としては新たに今回の事業で機械を導入するということはありません。お店側の負担はありません。今回、初めての導入になりますので、事業者の方に対しては、こういった取扱いの説明会等を順次行っていく予定をしております。

○委員（河野 巧）

ですと、この予算の中にそういった説明会の費用は含んでいるということでしょうか。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。説明会等の費用等もちらの事業の方に含まれております。

○委員（河野 巧）

でしたら、どちらかの会社というか、前回でしたら、専門員の方がお店を開拓して歩いたと思うんですけれども、そういったものを含めて、そういう委託業務みたいな形になるんですか。それとも、お店の方を集めてされるのか、事業内容的なものをもう少しご説明します。

◎産業観光課参事監（安東昌文）

河野委員のご質問にお答えいたします。まず今回事業者の方に、電子導入されるかどうか申込みの段階で希望をお聞かせいただきます。その後電子を導入希望される方については、事業者向けの説明会を数回開く予定としております。また、それに合わせて個別に質問がある方については、今回コールセンターも設けますので、コールセンターのほうに電話していただければ、個別にこの電子に関する問合せには対応できるようにしております。そういった費用は今回の予算に含まれております。

○委員（河野 巧）

あとは、安東委員とかぶるんですけれども、どうしても買う場合の制限ですけれども、そういうのは、ここで電子を買いましたとなったときには、それが紙のほうに反映されて、紙は買えないシステムになってるのか、その辺はどうなってますでしょうか。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えいたします。電子の商品券と紙の商品券の応募といたしますか、申込みの時期を合わせるような形にしております。両方共の申込みがあった場合には、それが重複しないような形で処理を行って、電子のプレミアム商品券のプレミアム率が高いので、基本的には電子のプレミアム商品を買った方は、紙の商品券を買えないような表示を申込みのパンフレット等で表示して、市民の皆様にお知らせしたいと考えております。

○委員（河野 巧）

もう1点だけ、プレミアム商品券なんですけれども、金券と一緒にの形かなと思って。そうした場合に、いろいろ大手スーパーさんとかでは、それにプラス、ポイントが付いたりとかすると思うんですけど、そういったのは、事業者としてはサービスとして行っていいんですかね。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。本事業については、消費喚起のために行う事業となります。そのため、各事業者様がポイントを付ける独自のサービスについては、本事業に合わせて景気対策を行うことなので、各事業者様の努力によって行うことについては、問題ないと考えております。

○委員（匹田久美子）

今のやりとりを聞いて、大体理解したと思っているんですけど、確認させていただきたいんですけど、今回電子のプレミアム商品券を希望した人は、アプリをダウンロードして40%のプレミアムがついたポイントをチャージされるわけですよ。それが消費の期限まで、9月末ですから、9月末までに使わなかったら、もうそのチャージしたポイントがそのまま消滅して

しまうということですよ。それで、今回プレミアム商品券のためにダウンロードしたアプリがそのままデジタル地域通貨のアプリとして使えるということになるんですよ。それは関係ないんですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

匹田久美子委員のご質問にお答えします。システム構築上の問題にもなるんですけども、あくまでもプレミアム商品券のこのシステムについては、機能としては、今回商品券に関するものの機能しかついておりません。地域通貨については、より複雑なシステムという形になりますので、この機能がそのまま使えるというふうな形はちょっと難しいかなと考えております。

○委員（匹田久美子）

今回そのアプリをダウンロードするというそのアプリは、P a y P a y とかの既存のものをダウンロードしてくださいという形になるんですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

匹田委員のご質問にお答えします。電子の商品券、今回の事業のシステムについては、白桦市独自で開発させていただくような形になります。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

（ 「はい、分かりました」 の声 ）

○委員（河野 巧）

匹田委員の質問に関連するんですけども、消費期限があって、それは紙の時もそうだったと思うんですけども、使わない場合全部使えなくなるということで、金額的にも、電子のチャージした分もなくなるんですか。そのお金はどこに行くんですか。

◎産業観光課長（山木哲男）

河野委員のご質問にお答えします。使用期限が切れた失効益の部分のご質問だと思います。第8弾の商品券事業についても、失効益が出ました。この場合の取扱いとしては、実施団体であるところから、市に寄付としまして残金のほうを入金いただいて、市の公共事業のために使わせていただきます。こちらのほうは、国からも通達がありますので、そういうようお願いをさせていただいております。以上です。

○委員長（匹田 郁）

ほかにございませんか。

○委員（安東鉄男）

今複雑なやりとりがあったと思うんですが、先ほどP a y P a y の二次元コードで提示されましたけど、市民の方からどのような使い方、使用の仕方するんだろうかと、確実に聞かれるんですけど、P a y P a y みたいなもんだと、いうことで答えても大丈夫ですか。

◎産業観光課参事監（安東昌文）

安東委員のご質問にお答えいたします。使用方法については、今後市報等で市民の方にお知

らせします。今回初めての試みになりますので、電子の使い方についても皆さんに分かりやすいように、その辺、市報のほうで市民の方にご案内させていただきたいと思っております。

○委員長（匹田 郁）

よろしいですか。

（ 「はい」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

ほかにごございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午前11時48分 休憩

午前11時50分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。

次に、教育委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎教育次長兼教育総務課長（佐藤忠久）

それでは教育委員会所管分について、それぞれ担当課長で説明いたします。

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課課長（新名 敦）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎学校教育課参事（高田教一）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

◎社会教育課長（那賀啓史）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で教育委員会事務局の議案審査を終わります。ご苦労さまでした。
暫時休憩いたします。

午前 11 時 55 分 休憩

午前 11 時 59 分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に、各特別会計の議案審査を行います。

初めに、上下水道課所管の議案審査を行います。第 24 号議案、令和 7 年度白杵市水道事業会計補正予算第 4 号を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

（ 令和 7 年度 3 月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

18 ページの債務負担行為の 1、水道メーター検針業務委託ですけれども、人件費が高騰される中、検針の料金というのは、どういう数字で上がっているのか下がっているのか、ご説明をお願いします。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えをいたします。水道メーター検針費用につきましては、単価自体ここ何年も変わっておりません。以上です。

○委員（河野 巧）

ずっと変わってない。一度上がったと聞いたんですけど、それからずっと上がってなくてというのを聞いたものですから、そこを人件費高騰によるというのは、加味はされないのかどうかというのを。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えをいたします。検針費につきましては、委託している組合と話合いを持っております。確かに検針員の手当を上げてくれというような要望もあって、うちの水道のほうと引き続きの協議ということは今させてもらってます。

運営も苦しいものがございますので、そういったところで組合と話合いをさせていただいているという状況にあります。

○委員長（匹田 郁）

ほかにありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第24号議案についての質疑を終わります。

続いて、第25号議案、令和7年度白杵市下水道事業会計補正予算第3号を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎水道事業所長併上下水道課長（村上 和）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員長（匹田 郁）

ございませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で第25号議案についての質疑を終わります。以上で、上下水道課所管の質疑を終わります。

ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午後0時06分 休憩

午後0時07分 再開

○委員長（匹田 郁）

再開いたします。次に保険健康課所管の議案審査を行います。

第26号議案、令和7年度白杵市国民健康保険特別会計補正予算第3号を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎保険健康課長（川辺みさご）

（ 令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明 ）

○委員長（匹田 郁）

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

(「なし」の声)

○委員長(匹田 郁)

以上で第26号議案についての質疑を終わります。

以上で保険健康課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午後0時08分 休憩

午後0時08分 再開

○委員長(匹田 郁)

再開いたします。次に、高齢者支援課所管の議案審査を行います。第27号議案、令和7年度白杵市介護保険特別会計補正予算第3号を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

◎高齢者支援課長(安藤隆文)

(令和7年度 3月補正予算重点事項説明資料に基づき説明)

○委員長(匹田 郁)

以上で説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いいたします。

○委員長(匹田 郁)

ありませんか。

(「なし」の声)

○委員長(匹田 郁)

以上で、第27号議案についての質疑を終わります。

以上で高齢者支援課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。

暫時休憩いたします。

午後0時10分 休憩

午後0時11分 再開

○委員長(匹田 郁)

再開いたします。

これより第23号議案、令和7年度白杵市一般会計補正予算第6号に対する討論に入ります。

(な し)

○委員長（匹田 郁）

以上で討論を終わります。

これより採決を行います。

第23号議案については原案通り可決することにご異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

異議なしと認めます。よって第23号議案については、原案どおり可決すべきものとして決しました。

以上で第23号議案についての議案審査を終わります。

次に、特別会計であります。特別会計の第24号議案から第27号議案までは一括して討論を行います。

（ な し ）

○委員長（匹田 郁）

以上で討論を終わります。

これより採決を行います。

特別会計第24号議案から第27号議案については、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（匹田 郁）

異議なしと認めます。

よって第24号議案から第27号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。

以上で第24号議案から第27号議案についての議案審査を終わります。

以上で当委員会に付託を受けました議案の審査を終わります。

予算委員会を閉会いたします。

午後0時12分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和8年3月4日

白杵市議会

予算委員会委員長 匹田 郁